

## 第 14 回 議会改革推進特別委員会記録

令和 4 年 11 月 14 日(月)

10 時 30 分 ～ 11 時 48 分

全 員 協 議 会 室

【委 員】 牛尾委員長、西田副委員長  
足立委員、村武委員、小川委員、佐々木委員、田畑委員

【委員外】

【議長団】 笹田議長

【事務局】 河上局長、下間書記

---

### 議 題

- 1 浜田市議会 BCP について
- 2 議会改革に関する検討項目について
- 3 行政視察の実施について
- 4 その他

○次回開催 12 月 8 日(木) 本会議終了後 全員協議会室

【議事の経過】

(開議 10時30分)

牛尾委員長 | 第14回議会改革推進特別委員会を開会する。議題に沿って審議に入りたい。

**議題1 浜田市議会BCPについて**

牛尾委員長 | 仕上げについての説明をお願いします。

下間書記 | (以下、資料をもとに説明)

牛尾委員長 | 完成案について説明があった。皆からご意見を伺う前に、土曜日午前中に防災に関する講演会があったのだが、講師に休憩時間中にこれを全部見てもらった。その教授は大津市議会のBCPをつくるときに呼ばれて話をしており、大津市議会のBCPには彼の考え方が入っているのだと。これを見てもらったところ、よくできていると言われた。そして、全議員のLINEグループをつくるのはとてもよいのではと言われた。あと、災害が起こったときに大変なのは、個人がやらなければいけないことと、議員としてやらなければいけないことの線引きが大変だろうという話をもらったので一応報告しておく。

小川委員 | 何か皆からあるか。今日了承がもらえればこれを議長に渡して、できれば12月定例会議の初日に議長から説明してもらいたいと思っている。

牛尾委員長 | 前回、最後のページについて幾らか意見を言わせてもらった。恐らく相当時間をかけて手直ししていただいたと感じる。項目にもすぐたどり着けるし、これを見れば全体のつくりが一目でわかる中身になっていてすごく感謝している。非常に見やすい。

牛尾委員長 | ほかに。

下間書記 | (「なし」という声あり)

牛尾委員長 | ではこれを正案として議長に渡そうと思う。

牛尾委員長 | そうすると今配信した「議会改革に関する検討結果 第2回報告書」ということで、こういう添書をつけて委員長名で議長宛てに、浜田市議会BCPの策定について検討を終えたとの報告を、今日付でさせていただく。

牛尾委員長 | 余談だが、講師先生にミサイルについて質問した。例えば浜田市などで新築の家を建てる際、地下室をつくる場合には幾らかの補助を出すといった政策はどうだろうかと聞いたら、「田舎で地下室をつくったら水害のときには溺れるだろう、専門でないからわからないがコンクリートの分厚いところへ隠れるしかあるまい」との回答だった。

**議題2 議会改革に関する検討項目について**

牛尾委員長 | 今後対応しなければいけない部分と、前回の委員会で皆からいただいた意見を列挙している。今後どのようにやっていくか皆の意見をフリー

トーキングの形で参考に伺っておきたい。その前に前回各委員から提案してもらった内容について、補足があれば願います。

足立委員

夜間や休日の議会開催について意見を言わせてもらった。全国的な流れで、議員・議会に対する住民の意識が遠くなっている中、浜田市議会では議会改革でさまざまな取り組みをして住民との距離を近づける努力もしているが、一方で全国的な流れを見ると、住民に寄り添う形の議会も必要ではなかろうかという思いもある。これを開催することで必ず距離が縮まるともなかなか思えないが、試しで数回やってみることで住民意識を直接感じてみたくて、今回提案した。

小川委員

議会としての政策立案や提言、具体的には条例づくり等もあるとは思いますが、そうした機能を実際に発揮できるような環境がどうかといったとき、やはり専門的な部分を担っていただける議会事務局の体制が今の中では難しいのではと感じている。積み残しの4に書いてある政策サポーター制度も幾らか関連するのだが、市民側からの政策提言といった機能がこの政策サポーター制度にはあると思うのだが、私とすれば議員側から具体的な政策提言なり条例の提案に向けた動きをつくる場合、専門的知見から相談に乗ってもらったり、手伝っていただける体制をつくっていくことが非常に大事ではないかと思っている。通年会期になり各常任委員会でも進められているし、具体的には子ども条例の関係なども含めて検討されているが、具体的に助言いただいたりできるような体制、市民からも協力いただける方がおられれば、それが即サポーター制度になるかもしれないし、大学との連携になるのかもしれないが、私自身には、具体的な政策提言や条例づくりとその部分との連携の経験がないので、そういうのがあるとよい。そういう専門部署ももしかしたら市単独で設置するのは財政的にも難しい面があると思えば、幾らか連携する近隣市町と一緒にそのような体制ができることも検討してはどうかと感じている。特に我々の会派で視察した福岡県議会などは、県議会でそのような機能を持っており、傘下の市町の相談に乗っていただける体制もあった。そういうことが可能であれば強化したらどうかなと思った。

西田副委員長

議会のICT化と書いてあるが、特別言うこともなくICT化は既に推進はされていると思う。コロナによってオンラインはどんどんやっている。自分自身への叱咤激励のつもりでICT化をもっと勉強せよという意味でもあるのだが。もう少し積極的に、ICT化について議会として取り組めることがあれば先進的なところを勉強しながら進められたらよい。

もう1点オンライン化とは別に、大学の先生の活用。県立大学の多くの先生の専門分野を生かした、例えば地球環境問題、エネルギー問題といったところも含めて専門の方々に、浜田市にとって必要な情報を、大学の先生も活用されたい。

佐々木委員

会派の動きがもう少し見えるようにと提案した。前は急な提案だっ

たため、このようなことしか浮かばなかったのだが、これについてもう少し言うと、会派制をしいて会派内で調査研究しながらいろいろな活動をやっている。会派は意思が通じ合う仲間がいるので、よりいろいろな政策に反映しやすい。会派を生かしたいろいろな取り組みがもう少しできれば、より機能した議会活動になるのではと思って提案した。これについては、この委員会の中でどうこうではなく、会派内でそのような意識を持ちながら議会活動をやるくらいしかないのかなという気がしている。

もう1点、今最も重要だと思っているのが、田畑委員が提案しているように、浜田市議会は広聴機能がかなり進んでおり、先般も市民一日議会があった。要は聞いた意見をどのように反映させたり、取り組みに生かすかが市民に一番求められている点ではないかと思う。今、市民一日議会で提案されたことも各委員会に振り分けて検討することになっているが、それも執行部に言っただけではどうかと思うので、その後が実はとても大事で、どのように反映させたかをもう少し議会活動全般でやっていかないといけないと思う。広聴機能そのものは進んでいるが、それを反映させる議会活動がまだ及んでないので、そこは非常に重要な点だと思う。

牛尾委員長  
村武委員

せっかくなので、市立図書館との連携についてはよろしいか。

前回も申し上げたが、現在議会図書室の活用がほとんどされてない。浜田市立図書館があるので、そのレファレンスサービスを活用して、もう少し議会図書室を活発化したらどうかとは考えた。私も前回にはあまり知識がなくて申し上げられなかったのだが、あれから少し調べたところ、市立図書館と議会が連携して、市民が議会図書室に来て議会のことを学んだりしている市もあった。そういったことをすることによって市民と議会の距離が近づいていくこともできるのかなと感じた。さらに調べたところ、大学の図書館を活用して議会活動を活発化させている議会もあり、そういったことを考えると西田副委員長も先ほどおっしゃった、県立大学との連携の必要性について私もすごく感じていて、図書館という視点からも大学との連携ができるのかなと感じた。

先日、協働のまちづくり推進特別委員会において長崎県立大学佐世保校の先生にいろいろお話を聞く機会があった。県立大学の先生方がまちに出ていろいろな課題解決をしているところを拝見した。浜田市議会としてももう少し県立大学との連携について、図書館も含め、大きな意味で島根県立大学との連携を強化してみたらどうか。

調べると、大阪の茨木市や八尾市は、市議会と大学との協定なども結んでおられる。そこから広報広聴機能や各委員会の課題も大学と連携して進めている事例もあったので、そういったことも含めて研究してみたらどうか。

田畑委員

私が書いたことは先ほど佐々木委員がほとんど言われているので、同

じことの繰り返しになるかもしれないが、浜田市議会は広聴機能が大変先行し過ぎているというか、それに我々議員がついていけないのかどうか分からないが、地域協議会と意見交換をした、市民一日議会もあった、コロナの関係で議会報告会は中止しているが、そこで出た市民の声をどのように行政に伝えるか、議会の場でどのようにするかが一番重要だと思っている。そうしたのを見ると、地域協議会との意見交換会2回目、市民一日議会も2回目、一番言えるのは一般質問だろうと思うのだが、一般質問にその声を反映している議員もごくわずかだと思っている。それでは議会広報広聴委員会が一生懸命こういっただけをやるかと言っても、議員がついていってないのが現状ではないかと思う。いま一度我に返り、声を常任委員会や一般質問に反映したり、要望書を地域の皆と一緒につくって議長や市長に提出したり、そういった活動が伴ってこないとやった意味がないのではと感じている。このことが議員として一番重要だろうと私は思う。

牛尾委員長

本日14回目なのだが、やはりさすが当委員会に手を挙げて集まったメンバーはすごいなと改めて感動した。委員長がコメントするのはおかしいのだが、夜間・休日に議会をやっているところは結構あって、僕が知っている例だがそのネーミングは昼間を「議会カフェ」、夜は「議会ナイト」という。ネーミングの面白さで人が来るのだと。今までの議会報告会も昼間やったり夜やったりしているが、行ってみたいと想起させるようなネーミングが必要なのかと思っている。それほど難しいことではないのでやればよいと思う。

2番目について、今回勉強会に行ったらやはり議会で政策提案条例をつくっている議会がある。どんどん条例提案する機会をつくるべきだと。そういう、議員になった以上は提案をしなければいけないという条例をつくっているところもあるので、逆にそういうことも勉強しながらやっていけば面白いのでは。

副委員長が言われたオンライン活用、かねてから思っていたのだが、議会報告会をやると高齢者の方はまじめに出席されるが、若い人は少ない。オンラインの議会報告会をやっているところも結構あって、オンラインにたけている若者が登録してZoomをつないで行っている議会もあるので、ぜひ一度検討してみてはどうかと。

会派を生かした議会改革の取り組み、これは今回の議会改革でマニフェスト大賞最優秀賞を取ったところが、会派横浜自民党なのである。最近の傾向を見るとやはり、議会で応募するところ、会派で応募するところ、委員会で応募するところ、個人で応募するところ、さまざまである。会派は政策集団だから、そういうこともどんどんやっていかないといけないのだろうと思った。

図書館を使った連携。もともと大学と浜田市は相互協定を結んでいるのでいろいろなことができるはず。逆に言えば、うちの議長と学長の間

で相互協定などをとりあえず結んで、結ばなくてもできると思うが、そういうこともやっていく。今でも県立大学の図書館は市民に開放しているの、目に見える形でやりながらそれによって交流をさらに深めていくのが大事だと思う。

それと議会の図書室は前から私も、いろいろな議会に興味を持っておられる方に来てもらって、図書室で意見交換をするのを常設的にやって、そういう取り組みを窓口として市民向けに開けておくのは一つの方法なのではと思っている。今回言われた話は非常に興味深い。ぜひこれは、それほど難しくないのでぜひ実現したい。

田畑委員が言われたのは、広報広聴で市民のいろいろな声を吸い上げているが、それを議会のPDCAサイクルに乗せて、どのように受けとめ結果がどうなったか。PDCAサイクルを明確に動かしながら、声を上げた方に最後までお届けする機能を当特別委員会で作っていく必要があるのだろう。

皆から貴重なご意見をいただいた中と、それと以前からの持ち越しがあるので、順番をどうするかを決めないといけない。少し休憩してフリートーキングをしよう。

[ 11時03分 休憩 ]

[ 11時39分 再開 ]

牛尾委員長

再開する。皆のフリートーキングを伺い、次回から行う議会改革のテーマについては持ち越しのテーマ並びに皆から提案をいただいたテーマを、正副委員長と事務局とで練って整合しながら、次回お示ししてその流れに沿っていきたい。ご了解をお願いします。

### 議題3 行政視察の実施について

牛尾委員長

一つの案を示している。広島県府中市は議会改革の機能強化の中でもベスト30に入っているような市で、非常に優秀である。1番が議会における事務事業評価、それから議会改革ということで、ぜひ行ってみたい。

2番が岡山県津山市。津山市は浜田市ともご縁があるが、電子決済システムや、先ほど一部意見が出た広域議会として3市議会交流会議で、議会のいろいろな問題点をお互いに出して話し合うようなこともやっておられる。それから議会活性化調査特別委員会で公的機関のあり方などもやっている。

3番目の岡山県久米郡美咲町は、今非常に脚光を浴びている。大学との連携でSDGsパートナーシップ包括協定をやっていて、誰一人取り残さない住民をテーマにした議会改革を大学と連携してやっている。非常に視察が多いそうである。今回たまたま局長と議長にお会いした。もし行けるとしたら重なっても構わないので断らないようにしてくれとお願い

いを事前にしておいたが、どうなるかわからない。

一応中国5県の中で行くべきところを絞り込み、議会改革度ランキングも含めてこの三つに絞ったがいかがだろうか、ご意見を伺いたい。

流れ的には相手もあることなのでどうなるかわからないが、例えば初日に府中市と津山へ行き、津山は泊まってくれと言われたので津山に泊まり、翌日は岡山県久米郡美咲町に行き帰ってくる。

西田副委員長

イメージだが、朝はそれほど早くない時間に出発して、早いほうがよいか、できたら午前中に府中市。例えば10時に府中市につく時間帯に伺って、午前中は府中市視察、昼食も府中市で食べて、午後3時くらいに津山市なり美咲町なりに行って、津山市に泊まらせていただく。翌日は午前中にもう1か所視察させてもらって、ゆっくり帰れる感じがよいかと思う。

牛尾委員長

大村益次郎に敗れてここへ逃れ、ここで浜田藩を開いた、鶴田藩だが。それが久米郡である。非常にゆかりのあるところなのでぜひ行ってみたい。副委員長から先ほど提案があった流れで、書記には相手方と交渉いただいて、ぜひ実現するようお願いする。

#### 議題4 その他

牛尾委員長

次回の日程を決めたい。

《 以下、日程調整 》

一応12月8日をお願いします。よろしいか。

( 「はい」という声あり )

本日は以上で終了する。

(閉議 11時48分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会 委員長 牛尾 昭 ㊟